

湯沢市役所 様

新庁舎移転と職員証のICカード化を軸にガバナンスとセキュリティを強化
さらなる堅牢性と柔軟な拡張性を持った印刷出力環境の認証基盤を構築

IDカードシステム **SmartSESAME**
SecurePrint!

導入事例

新庁舎移転プロジェクトから生まれた セキュリティ統合による認証システム基盤



湯沢市役所 様

“紙媒体からの情報漏えい対策に選んだ「SecurePrint！」によって、
利用者の利便性を向上しながら、同時にセキュリティ強化を実現できました”



秋田県の南部に位置する湯沢市は「小野小町」生誕の地として、あきたこまちや秋田新幹線こまちの由来でも知られ、歴史情緒あふれる自然豊かな都市です。2014年3月に新庁舎を開庁し、従来6つの庁舎に分散していた業務・機能を集約。さらなる住民の利便性やサービス向上を実現しています。この新庁舎移転にあわせて湯沢市が実現したのが、統合的なセキュリティ対策でした。入退室・出退勤、PCログイン管理に続く認証システム基盤の仕組みとして、マルチメーカー対応の印刷出力環境を検討。シーイーシーのSmartSESAME SecurePrint！（スマートセサミ セキュアプリント）を導入し、本庁舎や支所・施設内にある複合機・プリンターの印刷出力環境を刷新しました。半年が経過した現在、庁内のPC端末からプリンタードライバーを選ばず印刷出力できる「利便性」、いつ・誰が・何を印刷したかのログ監視によるセキュリティの「堅牢性」を同時に実現しています。

導入ポイント 導入効果

1 堅牢なセキュリティ担保 2 利便性の高い認証基盤 3 公平なマルチメーカー対応

ID/パスワード忘れや不正なログインを解消し、印刷物の放置・持ち去りの抑止力に

入退出、出退勤、PCログイン、システムログインすべての管理を職員証ICカード1つで利活用

ICT活用による費用対効果の最大化を見据えた調達の最適化を実現

導入の背景と狙い

新庁舎移転を機にICT環境の刷新を検討 分散化したシステムの集約を図る

2005年に旧湯沢市と旧雄勝町・稲川町・皆瀬村が合併し誕生した湯沢市。分散していた行政機能を集約し、市民サービス向上やバリアフリー化、環境・震災対策を図るため新庁舎の建設を計画。2010年から新庁舎の基本設計が始まり、足掛け約4年の歳月を経て、2014年3月に開庁しました。

湯沢市だけに限らず市町村合併によって行政運営のスケールメリットが増す一方で、課題も広がるケースが多い。約半世紀が経過していた本庁舎の老朽化に加え、行政事務の多様化や市町村合併による事務スペースの狭あい化など様々な課題に直面していました。また当時のICT環境についても同様にシステムの老朽化や運用の複雑化によって非効率な点も目についていたと、湯沢市 総務部 企画課 情報統計班 主査の佐々木訓氏は振り返る。

「合併時にセキュリティ担保と個別最適の観

点からVLANによりネットワークを新たに構築。このため、末端に接続されていたPCやプリンター、複合機などがそれぞれVLANや業務システムごとに必要になっていました。印刷環境を例に挙げると、同じフロア内にプリンターが3～4台、しかも隣同士で並んでいる悩ましい状況もありました。

そこで、新庁舎開庁に照準を合わせ、まずはネットワークインフラの再構築から着手。新庁舎計画段階から“身の丈に合った”スリムな行政運営を基本方針に掲げていた湯沢市。コンパクトな職務スペースを前提にしたICT基盤

の設計と機器調達が必須でしたと、湯沢市 総務部 企画課 情報統計班の参事兼班長の高橋一志氏は説明する。

「分散化したネットワークを集約し、1台のPCから基幹系・情報系システムを利用できる仕組みを整えたことで、次のフェーズに移行しました。新庁舎に合わせたサーバー・プリンター、クライアントPCなどの集約化を図り、ICT環境の最適化を目指しました」。

また、全国各地の自治体視察や地元専門家の知見によって最新のICT事例を収集する中、多くの“道筋”が見えてきたという。



湯沢市 総務部 企画課 情報統計班
参事 兼 班長 高橋 一志 氏

湯沢市 総務部 企画課 情報統計班
主査 佐々木 訓 氏

湯沢市役所 様

新庁舎移転と職員証のICカード化を軸にガバナンスとセキュリティを強化
さらなる堅牢性と柔軟な拡張性を持った印刷出力環境の認証基盤を構築

IDカードシステム SmartSESAME®
SecurePrint!

導入事例

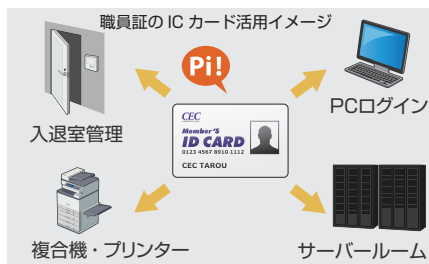
導入の検討と採用理由

“新庁舎移転と職員証のICカード化”で セキュリティ対策の構想が広がる

新庁舎移転の部署横断プロジェクトで議論を重ねるなか、他部門から職員証のICカード化の話題が上がる。『セキュリティ強化』や『業務効率化』をテーマに高橋氏は、入退出や出退勤管理、さらにはPCログインなどの認証管理に関する情報を収集した結果、一つの可能性を見出したという。

「庁舎建設担当や人事担当と議論を重ねていくうちに、当初サーバールームなど重要度の高い情報資産を守る場所の入退出セキュリティから、全職員を対象にしたICカードへと構想が膨らんできました。入退出、出退勤のタイムカードといった物理的なセキュリティに加えて、パソコンやアプリケーションのログインをすべて管理できるのではないかと考えました」（高橋氏）

「セキュリティの観点から物理的にもシステム的にも『鍵』をかける技術は情報収集して、



利活用に向かっていきましたが、一方で庁内の印刷出力環境の対策が進んでいませんでした」（佐々木氏）

紙媒体の漏えいを防ぐ認証印刷を検討 マルチメーカー対応にした理由とは？

情報漏えいの約7割が「紙媒体」から起きている（NPO日本ネットワークセキュリティ協会）という調査結果を踏まえ、「職員証のICカードを利用し、以前から注目していた認証印刷の検討に入りました」（佐々木氏）

「PCログインなど情報セキュリティ管理を徹底していても、『放置印刷』『持ち去り』などのリスクは、職員に任せきりの運用ではなかなか減ってはいきません」（高橋氏）

一番印象的だったのが、認証印刷の導入にあたってベンダー数社にRFI/RFPへの回答を求めたところ、「見事にそれぞれが各メーカー・機種専用の認証印刷システムで統一してしまう提案になっていました」（佐々木氏）

本庁舎、支所・施設全体で複数メーカーの異なる機種を導入していた湯沢市の実態は、いわば「マルチ環境」。そこでメーカー・機種を問わず、ネットワークに接続しているプリンターや複合機の印刷処理を監視できる製品としてたどり着いたのが、マルチメーカー対応の認証印刷基盤システム「SecurePrint!」でした。

「SecurePrint!を知って、まさに『これだ!』と感じました。このシステムなら、プリンタードライバー1つで認証印刷ができるため、職員の負担がありません。利用開始後のトラブルや質問が意外なほどありませんでした」（高橋氏）

「利用者側からすれば特別に面倒な操作も必要なく、今まで通り使っているようです。マルチメーカー環境に対応した認証印刷が可能で、さらに誰が何を印刷したかをすべての機種でログ管理ができる仕組みは、まさに私たちの狙いに合致していました」（佐々木氏）

活用の方法と展望

印刷ログ収集から解析&業務の利活用へ 複合機・プリンターの最適配置に

SecurePrint!の利用から半年が経過した現在、次の展開に向けて動きだしています。

その展望について佐々木氏は、「2つの施策を考えています。1つ目が、『複合機・プリンターの最適配置』です。印刷ログを統計解析す

ることで、設置場所や業務によって異なる機器・機能・ニーズに合わせて柔軟に配置することが狙いです。2つ目が『統合的なセキュリティ認証管理』。職員の利便性を損なわず、PCログインから「誰が、いつ、どこで、何を印刷したか」をすべてログ管理できる仕組みを目指しています」と抱負を語りました。

来るべきマイナンバー対応なども見据え、情報セキュリティの万全な確保によって、住民や市内外への「説明責任」を果たす湯沢市。次

なるアクションにも注目が集まりそうです。



写真 新庁舎フロア（3F）。自然光を取り入れ、市民にも職員にもやさしい新庁舎に、文書ファイリングシステムも導入し、すっきりとしたカウンターと執務エリアになっています。

お客様プロフィール



湯沢市役所 様

秋田県の南部に位置する湯沢市は、平安時代の女流歌人「小野小町」の生誕地と言われ、ブランド米の「あきたこまち」や、秋田新幹線の「こまち」の由来として知られています。自然の資源に溢れ、特産品としてはあきたこまちのほか、稲庭うどん、漆器、日本酒などがあります。とりわけ毎年10月に開催される「全国 まるごとうどんエキスポ in 秋田・湯沢」では全国各地からうどん愛好家や観光客が訪れています。

本 社 〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
代表者 湯沢市長 齊藤 光喜
職員数 623人（平成25年4月1日現在）
人 口 50,398人（18,268世帯）（平成25年4月1日現在）
URL <http://www.city-yuzawa.jp/>



■ 写真（右）
約400年の伝統が続く、雪のお堂にお餅状にこねた米粉で作ったしん粉細工の「犬っこ」を供え、盗難魔除けを祈る詩情豊かな民族行事「犬っこまつり」。



■ 写真（左）
豊富な地熱エネルギーを利用した温泉観光や農産加工品の製造、クリーンな電力の供給等を行う美の郷ざわじおパーク（Geo Park）

お問い合わせ



株式会社シーイーシー
Computer Engineering & Consulting

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル8F
TEL:03-5789-2442 FAX:03-5789-2586
E-mail:marketing@cec-ltd.co.jp



<http://sesame.cec-ltd.co.jp/>
スマートセサミ

販売代理店

※当カタログ内に記載されている会社名、製品名等は一般に各社の登録商標または商標です。なお本文中では、TM、Rマークは明記しておりません。
※上記事例に記載された社名・部署名等の情報は取材当時のもので、閲覧時点には変更されている可能性があることをご了承下さい。

201410-005-016PP